ロータリーを実践し
みんなに豊かな人生を
ロン D. バートン
2013-14年度RI会長

Rotary international District 2730
KAGOSHIMA & MIYAZAKI

ガバナー月信 10

Governor's Monthly Letter

2013 October

元気一杯。第2730地区の女性会員〈順不同〉

都城RCの皆様

宮之城RCの皆様

都城西RCの皆様

都城北RCの皆様

宮崎北RC 左上から 濱元貴子様、日髙真千子様、長友由美様、石川名帆子様、
二宮昌子様、落合雅子様、海江田典子様、井川静子様

奄美中央RC 左上から
重信千代乃様、上堀内ちあき様
荻原悦子様、里原あけみ様

日向東RCの皆様

串間RC
髙木ツヤ子様

※女性会員の写真をお待ちしております

2013-14年度

目　標

○職業奉仕（会員事業活達化）

○会員増強　年純増4%

○女性会員増強　年純増40%

○ロータリーブランド認知

ミッション・パッション・ビジョン

今月のロータリーソング

限りなき道ロータリー

作詞：平澤　興（京都東ＲＣ）
作曲：藤山一郎（東京西ＲＣ）

奉仕の理想　胸にひめ
友情花と　咲かせつつ
生きよう　今日も
ニコニコと
ひとすじの道　ロータリー
限りなき道　ロータリー

ガバナー月信　目次

クラブ訪問の思いで
「職業奉仕の熱い実践に感動」　大迫　三郎 …… 1
ガバナー公式訪問の感動 その②　（都城北RC）佐伯浩一郎 …… 2
（都城西RC）高橋　五男 …… 2
（小林RC）押川　公重 …… 3
（えびのRC）川池　光蔵 …… 3
（都城RC）木脇　義紹 …… 4
（鹿児島中央RC）小原　正信 …… 5
（鹿児島西RC）長柄　英男 …… 5
（鹿児島城西RC）永田　眞一 …… 6
（鹿児島南RC）宮田　一男 …… 6
（鹿児島西南RC）森田　五男 …… 7
（鹿児島北RC）喜山　修三 …… 7
（鹿児島ＳWRC）庄司　教克 …… 8
（日向東RC）児玉富喜夫 …… 8
（日向中央RC）北御門　孝 …… 9
（延岡東RC）髙橋　寿 …… 9
（鹿屋西RC）北山　勉 …… 10
福島キッズ報告 …… 11
ロータリー財団 …… 12
米山学友会新制度について …… 12
トピックス …… 13
８月の寄付金傾向 …… 14
７月出席率報告 …… 15
文庫通信 …… 16
入退会報告 …… 16

ガバナー通信

クラブ訪問の思い出

職業奉仕の熱い実践に感動

国際ロータリー第2730地区
2013～2014年度　ガバナー
大　迫　三　郎

―会長、幹事さん、会員の皆さんとの出合に感謝です―

８月19日からは橋口地区幹事の車で、昼は鹿屋西、夜は串良クラブでした。鹿児島東部分区のガバナー補佐白坂文夫さんが準備万端で迎えて戴き、20日は昼がきもつき、夜は志布志とそれぞれ大歓迎を受けました。21日の鹿屋クラブはガバナーエレクトの田中俊實さんのお膝元でもあり皆様の意気込みも大きく感じましたが、ガバナーのサポートは東部分区全クラブが協力するとのこと大変頼もしく思いました。22日は昼かのや東、夜南九州大崎と素晴らしいフォーラムの８クラブを終えて夜道を宮崎迄辿りつきました。

９月に入り３日指宿クラブの訪問をはじめに湯徳数昭ガバナー補佐のクラブの特徴説明を戴き、今林パストガバナーや大重ガバナーデジグネートの歓迎パーティーは分区内会長幹事さんに感謝です。４日、昼伊集院を訪れ、夜加世田では鹿児島西部分区の会長幹事さんも交えての公式訪問で、工藤会長の尽力で２名の素晴らしい入会者を紹介され元気な雰囲気でした。

５日は頴娃で終了後はクラブ会員からなる町興しの一環釜蓋神社や辰のおとし子などを訪れ良い体験でした。６日は枕崎で日程変更にも拘わらず大歓迎で社会奉仕お祭りにカツオ2,000人分なども活発でした。工藤加世田会長に鹿児島中央迄送って戴き感謝でした。

９日は宮崎東クラブもなごやかな公式開訪問で貴重なフォーラムでした。

10日、西都クラブでは図師パストガバナーも元気に迎えて戴き野間隆文さん（歯科）の裁量診療のあり方など貴重なフォーラムでした。

11日は加治木JR駅に髙尾野龍一ガバナー補佐に迎えられ、昼は姶良、夜は安満パストガバナーを交えての例会フォーラムではお悩み相談会の発表など素晴らしいものでした。

12日は昼国分、夜国分中央クラブにて京セラホテルでの華やかで厳粛な訪問でした。終了後会員さんの寿し屋さんに招待され、美味しい酒をいっぱい安満パストガバナーと共に戴き感謝です。鹿児島中部分区の会長幹事さんも同席され談笑に花が咲きました。

13日は霧島クラブでまほろばの里での訪問は大自然に包まれ、雄大な景観につい心が洗われリフレッシュしました。フォーラムも高い水準の職業奉仕観が拝聴できました。
今回も多くの会員の熱心な参加で感動の毎日でした、職業奉仕の実践にそった発表のフォーラムで深い感激を戴きました。橋口幹事には霧島まで迎えに来て戴き感謝でした。

ガバナー公式訪問の感動 その②

都城北ＲＣ

会長　佐　伯　浩一郎

7月23日（火）、大迫ガバナー・木佐貫ガバナー補佐をお迎えし、公式訪問例会を開催させて頂きました。

当日は、会長・幹事・副会長・副幹事との懇談会から始まり、例会では、当クラブから推薦した青少年交換留学生　戸高　晃さんの壮行会も行い、ガバナーから激励の言葉も頂き、終始穏やかな雰囲気の中、クラブフォーラムまでご指導頂きました。

今年度はクラブフォーラムのテーマは「職業と私」「私の職業と職業奉仕」ということで当クラブから３名の会員の発表をさせて頂きました。ガバナーにも熱心に聞いて頂き、また１人１人に対する的確で、迅速なアドバイス、コメントを頂き、見識の広さに感動し、さすがだと敬服致しました。また、カバナーアドレスの職業奉仕に対してのお考えは、ロータリーの基本となるもので、人々の為に如何に尽くす事が出来るかと高い倫理基準が必要だと改めて、大変勉強になりました。

ただ、残念でございましたのは、昨年の山下ガバナー公式訪問では、RIの効果的なクラブづくり、地区の基本方針・長期計画の中にも盛り込まれております「CLPの導入」についてご指導がございました。しかし、その後のクラブの進捗状況について何もお尋ねがなかったことでございます。当クラブは導入に向けて、すぐ実行に移すべく、勉強会を重ね、会員間でも幾度も議論をし、組織の変更・細則の変更と取り組んで参りました。そして、やっと、生みの苦しみを乗り越え、今年度から始まった訳でございます。地区の基本方針・長期計画が、単年度単位で、一貫性・継続性のないというのはいかがなものだろうかと思いました。苦言を呈しましたが、どうぞご容赦下さいますようお願い致します。

大迫ガバナー・木佐貫ガバナー補佐には、長時間の懇談、ご指導お疲れ様でございました。当クラブにとりましても有意義な時間が持てましたことを会員一同、感謝申し上げます。今から地区大会、公式訪問も後半戦とございますが、どうぞ、お身体には充分気をつけられて、益々のご活躍を祈念申し上げます。

都城西ＲＣ

会長　高　橋　五　男

7月24日（水）、大迫ガバナー、木佐貫鉄蔵ガバナー補佐をお迎えして、公式訪問例会を開催致しました。予定通り11：30分にクラブの例会場である「ホテル中山荘」の、用意していました貴賓室での会長、会長エレクト、幹事、幹事エレクトとの懇親会では、今年の我がクラブテーマ、「会員増強、そして楽しもう」の会員増強の件が話題になりました。大迫ガバナーから目標を何人予定立てていますかの問いに、自然退会者を含めた退会者のことを考えますと、無理かも知れませんが５名は努力しますと返事しました。例会、クラブフォーラムでは、大迫ガバナーより大変貴重なガバナーアドレスを頂きまして会員も喜んでおりました。また。地区の職業奉仕委員会を以前努めた会員からも、ロータリアンの矜持、「職業奉仕とロータリーの魅力」。そして「五大奉仕との関わり」を読んで絶讃しておりました。会員によるクラブフォーラムについては「職業奉仕と私」・「私の事業

と職業奉仕」のテーマのもと、平川職業奉仕委員長、大峯直前会長、小俵歴代会長の３名の方に自分自身の体験、職業奉仕についての事業内容等を詳しく発表して頂きました。その後、質疑応答があり、井福国際委員長から第2730地区として今後の国際交流のあり方、計画について質問がありました。最後に時間は多少オーバー致しましたが、吉原会長エレクトの謝辞で大変有意義な、実りあるクラブフォーラムを終える事が出来たことは、今後のクラブ運営にも大きな力となる事と思います。本年度の公式訪問は、新年度のスタート直後でもあり戸惑いと不安を抱えておりました。しかし終わってみますと大迫ガバナーのロータリーに対する感動、「ミッション」「パッション」「ビジョン」が伝わって来ました。大迫ガバナー、木佐貫ガバナー補佐、ありがとうございました。

小林ＲＣ

会長　**押　川　公　重**

小林ロータリークラブの公式訪問は、7月24日夜間例会と兼ねて行われました。正直言って、公式訪問を迎えるまでの数日間は、ガバナー事務所に提出する書類（長期戦略、活動計画指標等）の作成に追われ、会長就任して間もないこと、また、なにせロータリーについて従来から不勉強であったため、締切間際にやっと出来上がるという、学生時代の「一夜漬け」に近い心境を味わいました。そして当日午前中には、情報入手のため前日公式訪問を終えた小林中央クラブの山下会長を訪ねましたが、〈非常に和気あいあいに、和やかな公式訪問でした〉との答えでしたので、少し肩の荷が下りたような気持ちで臨むことができました。そして、開催直前に大迫ガバナー、木佐貫ガバナー補佐との懇談会を持ちましたが、当方役員は経験の浅い者ばかりでしたので、ロータリー歴40年の内村副会長にも同席してもらいました。まず席上、大迫ガバナーから、〈実は妻が小林（須木地区）の出身で、小林とは何かと縁が深い〉ということを聞いて、役員一同更にガバナーの存在が身近に感じたことでした。点鐘を皮切りにクラブ例会が始まり、ガバナーアドレスに移りましたが、ガバナーからの提唱により、アドレスに入る前に、今年３月亡くなられた当クラブの池田パストガバナーを偲び、全員で黙祷を捧げました。そして、メインテーマである、「職業奉仕」について、現在の職業あるいは経験を生かし人に奉仕することにより、RIテーマである【ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を】につながることの、ガバナーの熱のこもったアドレスに聞き入りました。記念撮影の後、クラブフォーラムに移り、事前に打ち合わせしていた、前原会員の毎年行っている、地元高校での就職志望者に対する模擬面接の報告、および瀬戸山会員に今年度も主たる活動計画としている、「自殺防止対策」について発表してもらいました。ただ、時間が余ったので、唐突ながら２～３の会員に職業奉仕に対する意見・感想を発表してもらうことになってしまいました。終了後は、カレーライスだった100万ドル食事に物足りなかったのか、若い会員の言い出しにより、ガバナーを巻き込んだ焼き肉パーティーに移行しました。そこでは酒も入り、一層盛り上がったのは勿論のことです。今回の公式訪問が、総じて無事成功の裡に終えたことは、ガバナー始めガバナー補佐の指導、およびクラブ会員の協力のお陰であり、皆様には感謝しております。

えびのＲＣ

会長　**川　池　光　蔵**

平成25年７月25日（木）、大迫ガバナー・木佐貫ガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会を開催致しました。本年度、大迫ガバナーは「職業奉仕の実践」をテーマに「ミッション・パッション・ビジョン」でロータリー

を充分楽しもうではありませんか、と提唱されました。大迫ガバナー自身は会社の起業家であり、10の会社の代表取締役を勤められ、各種団体の役員等も勤められなど、職業人そのものだと認識しております。ロータリーでは38年間、無欠席で顔写真を拝見する限り、キリット引き締まったお顔からは、厳しさを感じ少し緊張しますが、大迫ガバナーをお迎えしての公式訪問例会を、私自身はもとより会員一同楽しみにしていました。約１時間の懇談会は、大迫ガバナー・木佐貫ガバナー補佐・水谷副会長・佐世幹事の５名の参加で行い、１年間の活動計画やクラブの概況報告等を説明し、ガバナーの指導を頂きました。特に佐世幹事は会長エレクトでもあり、来年度の参考に成ったと思います。私の一方的な説明でオーバータイムでした。申し訳ありません。そして、昼食の後、50分の例会、大迫ガバナーより､ガバナーアドレスをいただき、クラブフォーラムを開会しました。クラブフォーラムでは「職業奉仕と私」のテーマで３名の会員にスピーチをしてもらいました。上水会員は、田の神舞の継承について、石坂会員は、女性の奉仕精神について、高田会員は、職業体験とロータリーの出逢いについて体験発表して頂き、大迫ガバナーに講評をいただきました。例年とは違った形でのクラブフォーラムでしたが、大変有意義な時間だったと思います。皆様のご協力のもとガバナー公式訪問例会を無事終了できました。大迫ガバナーを初め関係者各位に心から感謝申し上げますと共に、益々のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。

都城ＲＣ

会長　**木　脇　義　紹**

７月26日、都城地区の最後のクラブ訪問を、私共、都城クラブに訪問されました。

午前11時半より、ガバナー、ガバナー補佐と会長、幹事の懇談会で、クラブの方針、「良いことをしよう」の説明とCLP導入の組織の改編に伴っての説明をしたところ、大変喜ばれ、ガバナーの方針を良く理解していると、おほめの言葉をいただきました。特に、各委員会とも目標樹立とそのプロセスにおけるチェック、行動の徹底には感心をしていただきました。

以前、「PETS」の時にお会いはしていたものの、身近に接し、話しをしていると、私の想像していた通りの人物でありました。久し振りの企業人のトップを得て、なんとなく気安く、しかも、頼り甲斐があり、情熱的でロータリーを、こよなく愛するこの魅力は、どこからきているのでしょう。恐らくガバナーの、今迄の業界での活躍、仕事を通じての倫理性、高潔性等、70数年の生き様が醸し出すものなのでしょう。こういうガバナーにめぐり会えたことを幸せに思います。

さて、例会では、ガバナーアドレスで「職業奉仕とロータリーの魅力」について、約25分話しされ、知己の会員を名指しながら感銘を与えていただきました。目標達成のための「ミッション・パッション・ビジョン」の心の持ちようを確認したところです。

一方、クラブフォーラムでは、ご依頼のあった「職業奉仕と私」という課題では、当会員の迫田会員が、「警備会社の社長」として、いろんなイベントの警備、道路交通の警備を通じて、いかに地域住民の安全安心を守るかについて、社員の礼儀教育の徹底等を強く訴えられた。又、堀之内会員は、「建設業の協会長」として、建設業が、如何に社会奉仕に従事しているかを、口蹄疫の時の建設業の働き、新燃岳噴火時の灰の処理等、写真等の資料を添えて説明してくれました。更に、青年部が毎年、小中学校の清掃等もボランティアで、やっていると訴えて、建設業の社会的評価の向上に尽くしてくれたことは、同業者としてこの上ない喜びでした。さすがは、伝統ある都城クラブ、名に恥じないフォーラムであったと自負しておりますが、ガバナーどうだったでしょう？

夜の懇談会は、都城地区４RC会長幹事・地区役員で、ガバナーを囲んで、なごやかな雰囲気で過ごすことが出来ました。我々、参加者は全員で固い団結心と友情で、愛すべき大迫三郎ガバナーを、支えあう誓いを立てた夜でもあったと思います。

●鹿児島中央ＲＣ●

会長　**小　原　正　信**

鹿児島市内10クラブに対する５日間連続のガバナー公式訪問が７月29日月曜日、先陣を切って行われた。暑さの一番厳しい時期に昼夜連続のハードスケジュールでの会合出席でありガバナーの各クラブを尊重したその取り組みには頭の下がる思いがした。飯野ガバナー補佐同席の会長・幹事・会長エレクトとの協議では前週に開催されたクラブ協議会でのガバナー補佐の印象に残った我々クラブの特徴や個性が取り上げられた。

①　平均年齢の若さ
②　レディースディの開催
③　国内外他クラブとの交流事業の充実

など自分達では気づき難い点を客観的に指摘していただき、概ね活力のある充実した活動を展開しているとの評価を頂いた。

本年度執行部の年度目標や活動計画の説明に対し、ガバナーからはRIや地区の方針に左右されることなく、ロータリーの活動は個々のクラブの自立したものであり、クラブの個性や自由な発想で展開するべきであることなどありがたいご指導を賜った。例会においては本年度初めての新入会員をお迎えし、ガバナーには新入会員へのバッジ贈呈で感動的な入会式として演出して頂き又、ガバナーアドレスでは出席や会員増強の重要性をやさしく面白く語られ、充実した中にもお人柄の滲み出た和やかな笑いの絶えない例会とすることができました。

フォーラムでは我々クラブの「老、壮、青」のそれぞれの世代を代表する異なる職種の三人から、それぞれの職業を通じた奉仕の実践や在り方への意見発表をしてもらい、それを受けましてガバナーからは一人一人の話に応じた丁寧な感想やガバナーの幅広い交友関係や知識からくる適切なアドバイスを頂戴した。10社余りの会社経営に当られている現役経営者ならではのガバナーの「ロータリアンの矜持・職業奉仕」に対する深い見識には会員一同、尊敬と感動をもって充実したフォーラムとすることが出来ました。心より感謝申し上げます。

●鹿児島西ＲＣ●

会長　**長　柄　英　男**

(1) 日時　　平成二十五年七月二十九日
午後五時三十分
(2) 会合
(あ) 会長、幹事アドレス　午後五時三十分～午後六時二十分

大迫ガバナー、有村ガバナー補佐、長柄会長、鮫島会長ノミニー、坂木幹事

会長よりクラブの現状報告、全員会員増強の重要性確認、目標80名
(い) 例会　午後六時三十分開始　点鐘

会長挨拶、幹事報告、出席報告、ニコニコ紹介の後ガバナー補佐挨拶、午後七時より大迫ガバナーのアドレス、今期の重点目標、「職業奉仕」を「ミッション」「パッション」「ビジョン」の標語とともに、各自の職業に高い倫理性を保ち、情熱を持ってこれを遂行することによって職業奉仕が実行され、更に社会奉仕にいたるとアドレスされた。
午後七時二十分終了　点鐘
(3) 写真撮影　午後七時二十分より
(4) クラブフォーラム　午後七時三十分より
(あ)最初３名の会員に「私の仕事と職業奉仕」のテーマで卓話を頂く。

三木会員　公共放送に対する、視聴者の評価をアンケートの結果で紹介人々の日常生活に深く浸透しており、一方で経営的側面にも深く留意せねばならず、番組の90％はキー局に依存するが10％自主番組で視聴者の満足を得られるよう努力している。

迫田会員　家業の餡子の製造に関し、その歴史は西暦607年の遣隋使の帰国に遡り、餡子の製造業は明治五年静岡で始まり最盛期には一千軒あったがさいきん鹿児島県では五軒になった。お客さんの要望する餡子(サボテンの餡子等）に一所県命に応えて頑張っている。

七枝会員　フィナンシャルプランナーという仕事は、個人の生活の指針提示という大事な仕事で、個人情報保護の問題もあり、資格取得は最高の国家試験まで種々ある。現在ソニー生命に所属し一人ひとりのライフ

プランを考慮して相談に応じている。
少し時間があったので、指名で、古木会員、川村会員、菊永会員に発言頂いた。
最後にガバナーに講評を戴いた。ガバナーは三名の卓話について、一人ひとりに言及され、三木会員　公共性の制約の中でいかに視聴者の興味を繋ぎ止めるか、有能な事業家は宣伝上手、とされた。迫田会員　人生の豊かさを提供する迫田さんはすごい　七枝会員　保険事業の大事さを認識した、保険は大事、急死したある社長は保険で収支をキッチリつけた。とされた。

鹿児島城西ＲＣ

会長　**永　田　眞　一**

７月30日夜、大迫三郎ガバナー並びに有村茂樹ガバナー補佐をお迎えしての公式訪問例会等を開催致しました。
日程は会長、会長エレクト、幹事懇談会から始まり、例会、写真撮影、クラブフォーラムの順で行われました。
懇談会では、今年当クラブは、新入会員のための教育と委員会活性に努めている事、クラブ研修委員会を中心に、頻繁に勉強会を行い、昨年から引き継ぎしているCLPにのっとり、クラブ活性化に努めている事をお伝えしました。
大迫ガバナーからは当クラブ運営を評価、激励して頂きました。安堵して、終始、なごやかな雰囲気で終わりました。
例会で大迫ガバナーは、ロータリーの第一の基本的目的は、職業奉仕であり人格の陶冶である事を、職業を通じて、歩んできた人生を基にお話をされました。
会員にガバナー自身が書かれた冊子を事前に手渡されており、さらに理解しやすいものでした。
クラブフォーラムでは、３名の会員から、職業奉仕、職業を通じて奉仕の実践の経験または目指した事についての話をして頂きました。小園会員には、店舗デザイン業を自分の代で始められ、ガラス業の職員さんと店舗デザインの職員さんとの折り合いがゆかずに仕事がスムーズにいかない苦労、お客様を大事にし、懇切な説明をモットーに事業を展開してゆくにしたがい、お客様は増えて、順調に経営は推移している事等を話して頂きました。山下会員には、先代から、大島紬を営んでいましたが､大島紬業が斜陽していく中で、姉の助言もあり、居酒屋の焼き鳥屋を始めました。異業種でしかも、まったく経験のない事に不安を持った事、天文館の居酒屋さんへ修行に行った苦労、一人一人のお客さんと話をして、もてなすスタイルでお客様に支持を受けている事等を話して頂きました。小田原会員には、ご自分の代で100年になる病院経営について地方で開業していたが、鹿児島市で移転開業し、さらに、高齢者向けの施設を地方に作り、病院の運営を展開している様を話して頂きました。医療を患者さんのニーズに合わせて、迅速に事業を進め、社会に貢献しておられます。
最後に､３名の会員に対してガバナーから、職を通じて奉仕されている事へのお褒めの言葉を頂きました。
私としては、ガバナーには、公式訪問を通じて､会員全員に改めて職業奉仕を実践する事の重要性を気づかせて頂いた事はクラブ活性化において極めて貴重な経験となりました。

鹿児島南ＲＣ

会長　**宮　田　一　男**

平成25年７月31日(水)サンロイヤルホテルに於いて、鹿児島南ロータリークラブ第2730地区ガバナー公式訪問、並びに第2675回例会が開催。ご多忙の中、大迫ガバナー・有村ガバナー補佐の両先輩をお迎え致しました。
会長としてはじめての司会進行につき非常に緊張しましたが､午前中玉利会長エレクト・川窪副委員長との懇談会では和やかな雰囲気の中、楽しく懇切丁寧なアドバイスを頂き、会員増強・虐待防止シンポジウムの継続、当

クラブの現状や市内10クラブ分区の現状など、情報交換を行いました。
　また女性会員加入について、鹿児島と宮崎両県共に入会率を引き上げる、老人ホーム施設慰問を行う、来る当会55周年を迎えるにあたり、どのような取り組みを行っていくべきか等、話し合いがなされました。
　例会では、新年度はじめての入会式も重なり、大迫ガバナーより新たに入会された松窪会員へロータリーバッチの伝達を戴きました。
　ガバナーアドレスでは、大迫ガバナーのこれまでの経歴、ロータリー諸活動での貴重なる体験談、またRIテーマに沿った目標、将来の担い手となる次世代の会員や女性会員増強拡大等のアドバイスがあり、昨今のロータリーには変化が求められている、という現状を踏まえながらのお話しを頂きました。
　記念撮影の後、クラブフォーラムを開催。玉利会員、川窪会員、日高会員より「私の事業と職業奉仕」について、それぞれの体験に基づいた発表を頂きました。
　大迫ガバナーは、「職業奉仕の実践」を強調なされており、それには三つの柱「ミッション　指令」・「パッション　行動」・「ビジョン　展望」を目標に掲げ、「みなさんの豊かな人生に寄与し、併せて自分自身の心身の豊かな人生を求めたい」と述べられましたが、これこそロータリーの真髄であろうと納得する処でした。
　大迫ガバナー、有村ガバナー補佐におかれましては、長時間有意義克つ貴重なご意見・ご指導を賜りまして、誠に有難うございました。
　これから一年、ご多忙な日々をお過ごしになられる事と存じますが、ご健康にはくれぐれもご留意され、ガバナーの職責を果たされます様祈念し、会員一同心より感謝申し上げます。

鹿児島西南ＲＣ

会長　**森　田　五　男**

　2013～2014年度のガバナー公式訪問・クラブフォーラムが７月31日に大迫三郎ガバナー・飯野和男ガバナー補佐をお迎えして行われました。
　例会前の会長・副会長・幹事との懇談会では、会員増強・ライラなど当クラブの今期の課題について大変有意義な話ができ有難うございました。
　例会におきましても、大迫三郎ガバナーからアドレスを頂き、さらにその後のフォーラムにおきましても、出席会員全員のスピーチを熱心に聞いて、適確な講評を頂き当西南RCにとって有意義な時間となりました。
　これからの１年間、大迫三郎ガバナー・飯野和男ガバナー補佐又皆様からの御指導を頂き意義ある例会を実践し、会員増強に全力で取り組み楽しみながら活動して行きたいと思います。
　最後に大迫三郎ガバナー・飯野和男ガバナー補佐におかれましては、健康に留意され今後も御活躍されんことを祈念致します。

鹿児島北ＲＣ

会長　**喜　山　修　三**

　平成25年８月1日、大迫三郎ガバナーと飯野和男ガバナー補佐をお迎えして、当クラブの例会会場である「レンブラントホテル鹿児島」でプログラムが開催されました。
　午前11時30分から午後０時20分までは、大迫ガバナー、飯野ガバナー補佐、私と地福幹事、宮内会長エレクトとの間で協議会が開催されました。私からは、北クラブの重点目標である「もっとお互いを知って奉仕をしよう。仲間を増やそう。広報をしよう」を掲げた経緯をご説明し、地福幹事は北クラブの特徴をお話しました。例会では、大迫ガバナーは、職業奉仕に重点を置いた実体験に基づいたお話をなさいました。
　クラブフォーラムは、午後１時40分から午後２時40分まで開催されました。フォーラムは、飯野ガバナー補佐の挨拶から始められました。
　弁護士の上野会員からは、司法制度改革に

よって法曹人口が増加した影響を初めとして実務に即した弁護士活動や弁護士報酬についての発表がなされました。

レンブラントホテル鹿児島の支配人である三枝会員からは、レンブラントホテルに名称を変更した当初は、インターネット検索の順位も後退してしまったがきめ細かいサービスを継続して行った結果、順位も少しずつ回復してきているとの発表がなされました。

医師の松枝会員からは、病院を開業して三十数年経つが、その間学校の校医や、警察関係の仕事、産業嘱託医など病院の経営とは関係ない仕事もやって来ました。病院や有料老人ホームの経営も行ってきましたが、金儲けのためではなく、すべて世のため人のためとの意識でやってきましたとの発表がなされました。

最後に大迫ガバナーから、「私は人の話に対して講評はしません」という言葉を皮切りに、ロータリー活動には細かい理論ではなく実践が大事であり、その中でも職業奉仕には情熱と感動であることを話されました。大迫ガバナーのユーモアを交えた経験談は北クラブの会員に大きな感動と勇気を与えました。大迫ガバナー、飯野ガバナー補佐ありがとうございました。

鹿児島SWRC

会長　**庄　司　教　克**

８月２日（金）、公式訪問として、大迫ガバナー、有村ガバナー補佐にご来訪いただきました。会長・会長エレクト・幹事懇談会は、有村ガバナー補佐の進行のもと、それぞれが年度への抱負と計画について報告。その後会員増強についての懇談となりましたが、ガバナーからは会員が楽しんで貰えるようなクラブ運営を心掛け、是非ともクラブ目標を達成していただきたい、とご指導をいただきました。松藤幹事には、クラブにいてくれて、楽しんでいただくのが大事なことです、と。ガバナーのロータリアンに対する想いと実直で気さくな人柄を感じながら、終始和やかに懇談できました。

ガバナーアドレスでは、地区の重点目標である会員増強、テーマである「職業奉仕」についてお誘いただきました。ロータリーに入会したことにより、刺激を受け、厳しい事業競争を乗り越えてきた。ロータリーの価値観の上に立ち、職業奉仕こそロータリーであることを確認し、みんな豊かな人生に寄与すること、社会の為に役立つこと、合わせて自分自身の心身の豊かな人生を求めていただきたい。また、私個人の質問でロータリーと会社経営を両立させる為については、手帳にそれぞれの会社の決算書を入れて絶えず見ている、従業員にロータリーの職業奉仕を理解してもらい、仕事を成功させるためにやることなどを従業員と共有していることなどをお誘いただきました。

クラブフォーラムでは、４名の会員から自身の職業への想いや目指していること、職業を通しての貢献などをお話いただき、感動的でさえありました。ガバナーからは、発表された内容についても一人ひとりにコメントをいただき、今おやりになっていること自体が職業奉仕であります、と講評いただきました。これを機に、会員増強に、職業奉仕に、ますます真摯に取り組んでいこうと心新たにしております。ありがとうございました。

日向東RC

会長　**児　玉　富喜夫**

大迫ガバナーをお迎えしての公式訪問が無事終了いたしました。

連日の猛暑によるお疲れを感じさせない、明るく元気な笑顔に接した時、少し緊張もほぐれ、３ロータリー会長、幹事と合流し、日向市副市長を表敬訪問いたしました。

副市長に、ロータリーの歓迎行事で８月18日からの「東日本被災地の子供たちに、「福島キッズin2730旅程」を報告しましたら「日向市のロータリーで、素晴らしい計画を立て

ていただき、心より感謝申し上げます。」
又、ガバナーより「子供たちは、ロータリーの素晴らしさを知ってくれるのではないでしょうか」と感想を述べられました。
その後に、ガバナーは、「子供たちへの夢や、奉仕と親睦などにつき、我々の取り組みについて、ロータリーの奉仕精神の素晴らしい影響をもたらすことができるか」と話されました。
公式訪問の打合せにおいて、ガバナーと会長・幹事を交え、クラブ職業奉仕フォーラムの内容についてのご指導がありました。
職業奉仕について、会員３名の発表があり、わかりやすい内容で充実しており、非常に申し分のない説明だと感心されておりました。
又、クラブには女性会員が５名いることによって、例会も笑顔で明るく楽しい、ロータリークラブだと、言っていただき嬉しくなりました。
総評では、日向東ロータリークラブはまとまっており、全員がガバナーになっても遜色ない会員ばかりという事で感心されました。
又、会員からは「公式訪問は、大変有意義で楽しく良い勉強になりました。」と感想を聞くことができ、誰でも入会できるようなロータリークラブにしていこうと思っております。
私たち会員一同より感謝の気持ちを込め、黒木耕作会員の好意による、公式訪問記念品として論語の一説の
『事の誤るは得意の時、事の成るは失意の時』
と、木に彫った楯を贈り、
「いつまでも事務所の中に飾っておきます」
と感謝されました。

日向中央ＲＣ

会長　北 御 門　　孝

８/６（火）pm5：30より大迫ガバナー・友井地区ガバナー補佐をお迎えして、まずは会長・幹事で１時間たっぷりと面談をさせて頂きました。話が盛り上がる程に、ガバナーのお人柄が良くわかり、大変親しみを感じました。時折、ガバナーのメモ帳が目に入りましたが、びっしりと書き込んでおられ、企業家としての資質も窺い知る事が出来ました。
面談の中で私達のクラブでは会員数が少ないのでCLPの導入に関しても色々と考えが交錯しているとお話したところ、「問題はクラブの活性化である」とお答え頂き、活性化しておりさえすれば（会員数が増え、充実した奉仕活動・懇親が行なえていると理解）何の問題もない、とスパっとお答え頂き気分が軽くなりました。
また、最近の部門別会議の多さについてお聞きしたところなるべく少なくてすむ様に考慮して下さるとの事で安心したところであります。
後のクラブフォーラムでは、少ない会員数であったので、事業紹介と職業奉仕への考え方を一人一人話して頂いたのですが、全員の話を漏らさず聞いて、ちゃんと理解され感想を述べられた事には本当に驚きと感銘を受けました。
ガバナーとなられる方は皆それぞれ優秀な方ばかりなのでしょうが、大迫ガバナーは「ミッション・パッション・ビジョン」を自分自身が実践され、企業家精神に富み、また俳句など文学にも心を傾けることのできる大変優れた方だとの印象を今回改めて受けました。
私達日向中央ロータリークラブ会員はこの度のガバナー訪問を機縁として尚一層のクラブの活性化と職業奉仕に努めて参りたいと思います。

延岡東ＲＣ

会長　髙　橋　　寿

大迫三郎ガバナー、友井浄二ガバナー補佐をお迎えしてのガバナー公式訪問を８月７日（水）に開催致しました。
例会に先立って会長・幹事・会長エレクトとの懇談会では、クラブの現状、活動についての概要報告の後、クラブの運営について色々とアドバイスをいただきました。特に職業こそロータリーの第一価値で職業奉仕を通

じて社会奉仕、国際奉仕、そして会員増強をとご意見もいただき、２年後の50周年及びガバナー年度についてもアドバイスをいただきました。

大迫ガバナーのお人柄だと思いますが、大変にざっくばらんな会議でありながら、国際ロータリーや第2730地区の在り方について、沢山のヒントなどご教示をいただきました。

例会では、我がクラブが韓国西安東ロータリークラブと姉妹クラブという事もありまして、ご自身の韓国訪問で韓国語で挨拶をされたお話し、また友好クラブが奄美中央ロータリークラブという事で奄美での公式訪問で奥様と同行し感激したお話し等、クラブとして身近に感じる話題を交えて親密感のあるガバナーアドレスをいただきました。

引き続きのクラブフォーラムでは、４名の会員が「職業奉仕（職業を通じての実践）について」の想いを発表しました。

ひとり一人の話に熱心に聞いていただき、講評の中でもそれぞれの方の意見に対して的確なご意見、また意見を通じて職業奉仕の想いも話していただき有意義なフォーラムになりました。

新年度がスタートしこのような早い時期に公式訪問をしていただき、延岡東ロータリークラブの運営活動の内容についても誉めていただき、２年後のクラブ50周年ガバナー年度への活動運営に大きな励みになり自信となりました。

大迫三郎ガバナー、友井浄二ガバナー補佐におかれましては、お忙しい中での公式訪問、誠にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

鹿屋西ＲＣ

会長　**北　山　　勉**

大迫ガバナー、白坂ガバナー補佐、橋口地区幹事が、８月19日(月)　予定よりも早く会場へ到着され、ちょっと慌てながらのお出迎えになりました。緊張した面持ちで「会長、会長エレクト、幹事、懇談会」に臨みましたが、大迫ガバナーの心配りで、初めに参加者の職業を含めた自己紹介が行われ、大迫ガバナーの人柄もあり、緊張も和んだ雰囲気でスタートを切ることが出来ました。

当クラブから、「ロータリーをもっと楽しもう、そして、もっと語り合おう」というテーマの基、基本方針、主なプロジェクトを発表させていただきました。基本方針については、三本の矢として、第一の矢が、役に立つ充実した「例会」第二の矢が、友情の輪を広げる「親睦」第三の矢が自己成長に繋げる「奉仕の実践」を掲げたこと。プロジェクトについては、当クラブの創立25周年記念事業で、新種の薔薇「プリンセスかのや」を贈呈した、かのやばら園への継続的支援として、障害者、高齢者のためのパラソル付ベンチセットを整備する今年度の夢計画を。又、地域活性化のために、何の後ろ盾もなく一生懸命に活躍している若い世代に、当クラブとして、何か支援出来ることがないか検討していることなどを説明しました。さらに、会員増強については、既存会員と人脈の違う新入会員の方からの情報、紹介で入会される方が比較的多く、当クラブの実績が上がっていることを報告いたしました。最後に、次年度、鹿屋RCから田中ガバナーが輩出されたことで、当クラブが、地区大会をホストすることについては、一大イベントだからこそ、大いに楽しんで下さいとアドバイスを頂き、ちょっと肩の力が取れたようで気持ち良く取り組めそうです。例会では、「職業奉仕とロータリーの魅力」をテーマに、「ロータリーを即ち職業奉仕を実践しミッション・パッション・ビジョンでロータリーを充分楽しもうではありませんか」と実例を交えながら大変貴重なガバナーアドレスを頂きました。

クラブフォーラムでは、当クラブの３人の会員から「新たな夜間医療制度の立ち上げについて」「地域発世界への挑戦をテーマに医療と社会福祉施設の運営について」「品質とこだわりの大規模農業の取り組みについて」発表いただき、ガバナーより体験を踏まえた具体的なご講評を頂きました。

今回のガバナー公式訪問では、職業奉仕について充分に理解を深め、今後のロータリー活動に意欲を高める貴重な時間を持つことが出来たように思います。猛暑の中、ご訪問下さいましたガバナーに感謝申し上げご報告と致します。

福島キッズの報告

福島キッズ大成功!!

多くの関係者の御協力により、「福島キッズ」は無事終了致しました。当日は報道各社の取材もあり、広くロータリー活動を告知することも出来ました。皆様にもロータリー活動の認識を深めて頂くよう、月信でも詳細をお知らせします。

8月18日（日）　宮崎空港到着（14：35到着）歓迎レセプション
ホスト：　　日向市へ移動　日向サンパークにて歓迎式典　《写真１》
　日向RC　　ひょっとこ踊り体験　《写真２》
　　牧水公園ふるさとの家宿泊

8月19日（月）　御鉾ヶ浦にて
　　スタンドアップパドルサーフィン体験　《写真３》
　　坪谷小学校児童と交流会
　　ひむか子供落語会の落語鑑賞
　　バーベキュー交流会

8月20日（火）　JAXA宇宙少年団（延岡）指導により
ホスト：　　超小型固体燃料ロケット発射
　宮崎RC　　西都にて口蹄疫農家の講話
　　西都原考古博物館見学（宮崎RCに引継ぎ）
　　勾玉作り体験　《写真４》
　　青島青少年自然の家入所式
　　戸敷宮崎市長歓迎あいさつ
　　宮崎ロータアクトプレゼンツ
　　神話講話（湯川英男さん）

8月21日（水）　綾町照葉樹林の森散策（大吊橋）
　　綾わくわくファームで食農体験
　　（野菜を収穫、調理　パエリア）
　　宮崎RC会員との交流会
　　綾川荘天然プールにて水泳　《写真５》
　　青島青少年自然の家で
　　キャンドルファイヤとレクリエーション

8月22日(木)　宮崎県総合博物館にて
　　よみがえる古代恐竜時代展見学　《写真６》
　　宮崎空港ビルにて昼食会および壮行会
　　空港見学（航空大学校セスナ機見学）
　　羽田空港に向け出発（14：45）

写真２

写真３

写真４

写真５

写真１

写真６

ロータリー財団

地区補助金・ポリオプラス小委員会　（鹿児島RC）
委員長　野上　展孝

地区補助金について

従来の地区補助金は申請年月日順に審査され、予算額に達した時点で終了することとなっていましたが、地区財団委員長の意向もあり、公平性を重視し又より多くのロータリアンにプロジェクトに参加していただく為に、期限内に申請したクラブ全てを審議し申請する方針に変わりました。

その結果、2013～2014年では20を上まわる申し込みがあり、「人道的であるか」「教育的であるか」等の観点から厳正なる審査が行われ、19クラブ19プロジェクトを申請いたしました。

特に昨年実施した鹿児島ＳＷロータリークラブの「障害者の車椅子バスケット大会」に本年は宮崎東ロータリークラブも合流することになり、今後のプロジェクトへの取り組みの参考になる事例と思われます。少人数のクラブや同じ目的を持つクラブがジョイントすることで、更にロータリー活動の輪が広がっていくことが期待できます。

我々委員会は、64クラブすべてが補助金を申請する日が来ることを望んでおります。是非「MOU地区補助金管理セミナー」に参加し、地区補助金・グローバル補助金をまずご理解いただきたいと考えます。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

次にポリオに関しまして、財団創立百周年になる2017年までに125カ国に蔓延していたものを０にすることを目標に活動して参りましたが、現在ではナイジェリア・アフガニスタン・パキスタンの３カ国までに減少いたしました。地区の皆様のご寄付・ご協力の賜物であります。今後も撲滅宣言ができる日までご支援のほどよろしくお願いいたします。

米山学友会新制度について

新しい制度で
国籍を多様に

2014学年度海外応募者対象奨学金

既存の指定校推薦による奨学金とは別に、全世界から日本に留学する学生からの自由応募が受けられる画期的な奨学金として、2012 年から試行された海外応募者対象奨学金制度が３年目を迎えた。応募枠を設けるか否かと日本語能力の要否は地区に委ねているため、自由応募と言っても、大学所在地や日本語能力の有無によって申し込めない場合もある。この奨学金制度の魅力と課題は以下の通り。毎年地区に対しアンケートを実施し、募集要項の見直しをおこなっている。

【魅力】

1．多彩な国・地域からの応募がある
2．研究分野がバラエティーに富んでいる
3．来日初年度から支援できる

【課題】

1．日本語が話せない可能性がある
2．地区の割当数に含まれるため、通常の学生の採用数が減る
3．申込書類（英語の場合が多い）のみでの審査となる

トピックス

▶平成25年９月11日(水)
宮崎日日新聞

日南RC

社会人の心得指導

高校生へ就職支援講座

日南ロータリークラブ（田島逸男会長）の高校生就職支援セミナーは7日、日南市の南郷信用金庫本店オアシスホールであった。日南振徳、日南高の生徒29人が参加。模擬面接や講演などを通じ、就職試験への対応や社会人としての心得などを学んだ。

就職試験が本格化するこの時期に、毎年実施。田島会長は「入社2、3年目までは仕事を覚えるつらい時期だが、続ければ次第に面白くなる。社会貢献できる喜びを実感でき、天職と思えるようになるまで頑張って」とあいさつした。

模擬面接などを行った日南ロータリークラブの高校生就職支援セミナー

セミナーでは同クラブの担当者が面接の心得や注意点、言葉遣いなどについて説明。模擬面接では生徒が4人一組に分かれ、同クラブ会員が務めた面接官との受け答えや、入退室の方法などをシミュレーションした。

志望動機を聞かれた生徒は、「高校で取得した資格を生かすため」「もの作りが好きだから」などと返答。社会人の心構えについては「自分から積極的に学ぶ姿勢が大切」「責任感が重い」などと答えていた。同クラブ会員は「もう少しゆっくり大きな声で」「身だしなみには細心の注意を」などとアドバイスした。

同クラブ会員で「にちなん法律事務所」の豊田裕康弁護士による講演会もあった。

◆交換留学生が意欲アピール

都城市・都城北ロータリークラブ（佐伯浩一郎会長、47人）の例会は、同市北原町のロイヤルホテルでこのほど開かれ、スウェーデンから交換留学生として受け入れているビグデーン・マチス君(17)の紹介があった。

マチス君は国際ロータリー第2730地区（宮崎・鹿児島）の青少年交換プログラムで来日。同クラブ会員宅にホームステイし、都城商業高で勉学に励んでいる。来年夏まで滞在予定。例会では、日本語で「日本の食や文化に興味があった」と話し、スライドを使って母国の首都ストックホルムの街並みや地元の祭りなどを紹介＝写真。会員たちは興味深く聞き入っていた。

来日してからの約1カ月を振り返り、マチス君は「都城は優しい人ばかり」と笑顔。「これから友達をたくさんつくり、日本語もうまく話せるようになりたい」と話していた。

◀平成25年９月24日(火)
宮崎日日新聞

防災用具役立てて

延岡RC、支援校へ贈る

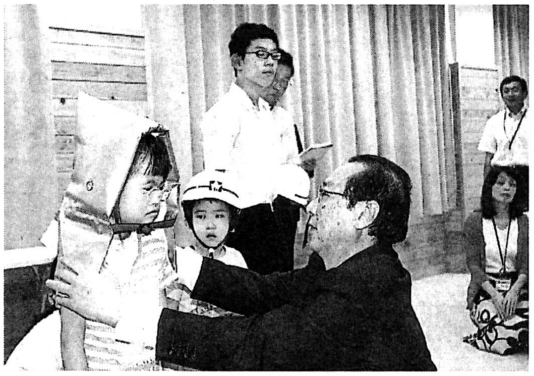
▶平成25年９月24日(火)
宮崎日日新聞

延岡市の延岡ロータリークラブ（RC）は18日、地震による避難で活用してもらおうと、障害のある幼児―高校生が通う「延岡しろやま支援学校」（武富志郎校長、178人）に防災用具を贈呈した。

贈呈式は同校であり、延岡RCの会員約60人が訪問。森憲一会長がヘルメットと頭巾計200個の目録を武富校長に手渡した後、幼稚、小学、中学、高等部の代表4人が現物を身に着けた。

生徒会長で高等部3年の本田歩君(17)が「ありがとうございます。大切に使わせていただきます」と謝辞。森会長は「いつ発生するか分からない災害に対応できるよう役立ててほしい。今後も子どもたちの自立、生活支援をしていきたい」と述べた。

今回の贈呈は延岡RC60周年記念事業の一環。同校は12月に実施する地震・津波避難訓練で使う予定。



贈呈されたヘルメットと頭巾をかぶる子どもたち

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

8月の寄付金傾向

8月分合計額　　83,315,801円
累計額　　288,331,153円　（前年同期比470万円増）

参考　前年度8月分合計額：98,589,292円、累計額：283,552,985円

普通寄付金

8月当月　　39,767,633円
8月末累計　　189,588,258円
（前年度比　1.57%増）
（　〃　　290万円増）
（予算達成率　47.4%）

普通寄付金上期分は 1,773 クラブ（77%）から納入されました。（内、年額納入は231クラブ10%）8地区が納入割合90%を超えました。（昨年度は7地区）普通寄付に係わる確定申告用領収証をご希望される場合、申請方法は昨年度と同様に当会 HP からアップロードしていただくことになります。詳細は HP をご覧下さい。

★普通寄付金納入状況・上期分（納入数/ｸﾗﾌﾞ数）

地区	納入数/ｸﾗﾌﾞ数	納入割合	地区	納入数/ｸﾗﾌﾞ数	納入割合
2500	43/66	65%	2610	55/66	83%
2510	42/71	59%	2620	51/78	65%
2520	41/81	51%	2630	74/80	93%
2530	56/68	82%	2750	66/85	78%
2540	18/42	43%	2760	72/83	87%
2550	31/50	62%	2780	59/63	94%
2560	47/57	82%	2640	45/71	63%
2570	49/52	94%	2650	72/96	75%
2770	65/76	86%	2660	69/83	83%
2790	74/84	88%	2670	57/74	77%
2800	47/51	92%	2680	59/74	80%
2820	43/58	74%	2690	61/67	91%
2830	31/41	76%	2700	51/61	84%
2840	42/46	91%	2710	67/74	91%
2580	62/71	87%	2720	40/74	54%
2590	58/61	95%	2730	43/64	67%
2600	41/55	75%	2740	42/57	74%

合計：納入数 1,773RC
地区ロータリークラブ数　2,288RC
普通寄付納入実績　8月 31 日現在、当会入金分

特別寄付金

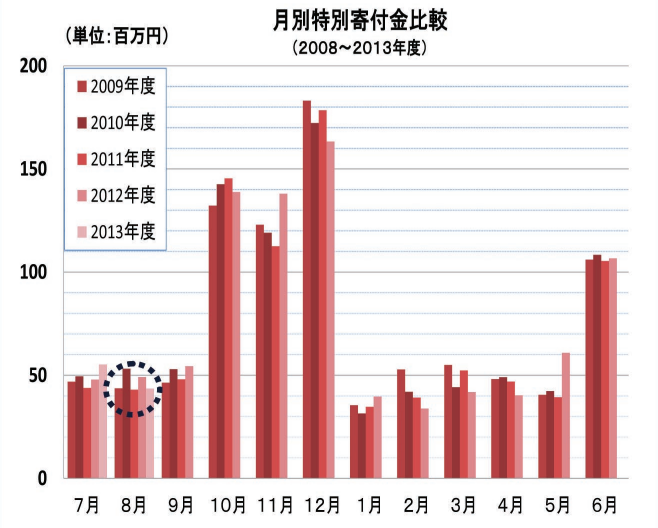
8月当月　　43,548,168円
8月末累計　　98,742,895円
（前年度比　1.90%増）
（　〃　　180万円増）
（予算達成率　11.0%）

8 月末累計額は前年同期比 1.9%増、約 180 万円の増加となりました。但し単月においては約 550 万円の減少です。10 月は米山月間です。9 月中旬には月間に向けて、全クラブに米山月間用資料をお送りいたします。会員皆様に当会の奨学事業内容を認知していただくツールとしてご活用くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

☆ **地区大会**
D2570　約 12 万円

☆ **高額寄付者（一度に 100 万円以上の寄付）**
D2580　東京新宿 RC　岡部　悠氏　100 万円
累計　367 万円

☆ **高額寄付法人(一度に 100 万円以上の寄付)**
D2760 医療法人　偕行会名古屋共立病院　100 万円
累計　135 万円【名古屋丸の内 RC:川原弘久氏】



RI第2730地区　7月出席率報告

クラブ		出席率 (50 / 84.32) %	会員数 13/7/1	7月末	女性	増減
宮崎県北部	延岡	86.99	75	76	7	1
	延岡東	98.41	51	51	2	0
	延岡中央	89.50	54	55	5	1
	日向	78.57	20	20	1	0
	日向東	91.27	30	30	6	0
	日向中央	82.69	14	14	0	0
	門川	78.57	7	7	0	0
(7RC)	平均及び合計	86.57	251	253	21	2
宮崎県中部	宮崎	91.89	100	98	6	−2
	宮崎西	89.61	81	84	6	3
	宮崎北	93.08	68	71	9	3
	宮崎南	79.14	35	36	5	1
	宮崎中央	87.50	46	46	7	0
	宮崎東	82.95	22	23	1	1
	西都	89.58	20	20	2	0
	佐土原	88.18	24	24	3	0
	高鍋	88.18	48	48	1	0
(9RC)	平均及び合計	87.79	444	450	40	6
宮崎県西部	えびの	90.48	22	21	4	−1
	小林	92.26	32	34	1	2
	小林中央	94.00	10	10	0	0
	都城	94.27	49	51	5	2
	都城北	93.21	45	47	5	2
	都城西	87.56	46	47	2	1
	都城中央	83.80	31	33	4	2
(7RC)	平均及び合計	90.80	235	243	21	8
宮崎県南部	日南	94.16	32	32	1	0
	日南中央	91.66	11	13	0	2
	串間	86.11	18	18	1	0
(3RC)	平均及び合計	90.64	61	63	2	2
鹿児島県北部	出水	85.45	44	43	3	−1
	阿久根	97.00	49	53	10	4
	川内	88.50	54	56	0	2
	薩摩川内	81.70	26	26	4	0
	串木野	82.85	7	7	0	0
	宮之城	78.57	14	13	3	−1
	大口	72.38	21	21	2	0
(7RC)	平均及び合計	83.78	215	219	22	4
鹿児島県西部	伊集院	82.18	27	27	2	0
	加世田	95.00	2	4	0	2
	枕崎	83.33	19	19	1	0
	頴娃	79.63	26	27	0	1
	指宿	80.95	28	30	1	2
(5RC)	平均及び合計	84.22	102	107	4	5
鹿児島県中部	霧島	56.25	19	20	0	1
	国分	83.65	51	52	9	1
	国分中央	83.62	28	29	2	1
	加治木	100.00	36	36	3	0
	姶良	81.33	17	17	1	0
(5RC)	平均及び合計	80.97	151	154	15	3
鹿児島県東部	鹿屋	83.91	45	47	3	2
	串良	80.88	36	35	0	−1
	鹿屋西	94.74	60	59	10	−1
	志布志	64.77	23	23	3	0
	かのや東	91.66	40	40	0	0
	きもつき	74.59	25	26	0	1
	南九州大崎	68.75	25	25	0	0
	志布志みなと	76.67	34	34	1	0
(8RC)	平均及び合計	79.50	288	289	17	1
鹿児島県市内	鹿児島	70.01	54	59	0	5
	鹿児島南	84.21	40	41	3	1
	鹿児島西	88.47	75	74	0	−1
	鹿児島東南	86.00	31	30	0	−1
	鹿児島中央	87.17	58	59	4	1
	鹿児島西南	85.00	12	12	1	0
	鹿児島城西	83.53	35	35	3	0
	鹿児島東	83.17	24	26	2	2
	鹿児島北	81.82	27	29	3	2
	鹿児島サザンウインド	85.72	43	47	9	4
(10RC)	平均及び合計	83.51	399	412	25	13
奄美(鹿児島県)	奄美	72.73	56	56	0	0
	奄美中央	78.84	52	52	4	0
	奄美瀬戸内	74.73	24	23	1	−1
(3RC)	平均及び合計	75.43	132	131	5	−1
全体の平均及び合計		84.32	2,278	2,321	172	43

文庫通信（313号）

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。
ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約２万３千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

★★★ 地区大会講演他より ★★★

◎「われらは地球の相乗り客」　ジョージ・ミーンズ　1970　1p　（D.365月信）
◎「どこに差があるか？」　ジェームズ・コンウェイ　1970　1p　（D.365月信）
◎「ロータリーの魅力は童心と微笑」　塚本義隆　1970　1p　（D.365月信）
◎「ホームクラブへ出席がなぜ大切」　塚本義隆　1970　1p　（D.365月信）
◎「ロータリーの目的は４つある？」　本田博己　2013　2p　（D.2840月信）
◎「『奉仕の理想』ってどういう意味？　そして、『超我の奉仕』とはどういう関係？」
本田博己　2013　4p　（D.2840月信）
◎「職業奉仕とロータリーの魅力」　大迫三郎　2013　2p　（D.2730月信）
◎「会員増強月間」　沖田哲義　2013　1p　（D.2710月信）
◎「幹事心得10箇条」　岡村泰岳　2013　1p　（D.2720地区協議会プログラム）
◎「ロータリー徽章に隠された秘密」　山本正治　2013　2p　（ロータリーこぼれ話）
◎「国際貢献と二つの奉仕理念」　石井良昌　2013　9p　（2680地区研修セミナー講演集）
［上記申込先：ロータリー文庫］

ロータリー文庫

〒105－0011東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL. 03-3433-6456 ・ FAX. 03-3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後5時　休館＝土・日・祝祭日

入退会報告

８月31日現在分

●入会者

ご入会、おめでとうございます。

■堤　礼一郎　（志布志ＲＣ）
■飛松真理子　（志布志ＲＣ）
■永山　南糖　（志布志ＲＣ）
■中山　信彦　（志布志みなとＲＣ）
■宮田　操　（鹿屋西ＲＣ）
■片野田　好　（かのや東ＲＣ）
■中田　勝紀　（鹿児島ＲＣ）
■中島　俊明　（鹿児島南ＲＣ）
■鶴田　司　（鹿児島西ＲＣ）
■東田中延幸　（鹿児島西ＲＣ）
■坂之上　忍　（鹿児島東南ＲＣ）
■北原絵理子　（鹿児島東ＲＣ）
■常田　清文　（奄美瀬戸内ＲＣ）
■川崎　康司　（延岡ＲＣ）
■矢野　光代　（延岡中央ＲＣ）
■大谷　一就　（宮崎西ＲＣ）
■横山　茂　（宮崎北ＲＣ）
■山口　昭典　（小林ＲＣ）
■伊黒　俊彦　（都城ＲＣ）
■奥村　俊彦　（都城中央ＲＣ）
■冨田　浩次　（日南ＲＣ）

●退会者

おつかれさまでした。

■矢野　佳裕　（串良ＲＣ）
■川元　孝一　（奄美ＲＣ）
■小田　進　（宮崎北ＲＣ）

新「ロータリーの目的」

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

第１　知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
第２　職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
第３　ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
第４　奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

付記

「ロータリーの目的」の４つの項目は、等しく重要な意味を持ち、また同時に行動を起こさなければならないものであるということで、ＲＩ理事会の意見が一致した。（ロータリー章典 26．020）

ロータリーの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1．すべての行動と活動において、高潔性という中核的価値観の模範を示すこと。
2．職業の経験と才能をロータリーでの奉仕に生かすこと。
3．高い倫理基準を奨励し、助長しながら、個人的活動および事業と専門職における活動のすべてを倫理的に行うこと。
4．他者との取引のすべてにおいて公正に努め、同じ人間としての尊重の念をもって接すること。
5．社会に役立つすべての仕事に対する認識と敬意の念を推進すること。
6．若い人々に機会を開き、他者の特別なニーズに応え、地域社会の生活の質を高めるために、自らの職業的才能を捧げること。
7．ロータリーおよびロータリアンから託される信頼を大切にし、ロータリーやロータリアンの評判を落としたり、不利になるようなことはしないこと。
8．事業または専門職上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同輩ロータリアンに求めないこと。

国際ロータリー第2730地区
2013－2014年度
ガバナー　大迫三郎

ガバナー事務所
〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田ビル3階
TEL.0985-61-7728　FAX.0985-61-7735

宮崎銀行は、お客さまの
経営パートナーとして、
さまざまな経営課題の解決をサポートいたします!

再生可能エネルギー産業サポート

- 再生可能エネルギー産業へ事業参入したい。
- 再生可能エネルギー事業のリスクコンサルティングを受けたい。
- 環境格付を取得したい。

ビジネスマッチング

- 自社商品の販路拡大を図りたい。
- 販路拡大、仕入先開拓に関する情報が欲しい。
- 外注先、提携先を紹介してほしい。

事業承継・M&A

- 自社株の評価額を知りたい。
- 分散した自社株対策を行いたい。
- 後継者問題を解決したい。
- 会社、事業を売却したい。

農業関連事業サポート

- 6次産業化を通じて所得の向上を図りたい。
- 設備を導入したい。生産規模を拡大したい。
- 企業的経営を目指して法人成りや組織化をしたい。

医療・介護事業サポート

- 医院開業の相談をしたい。
- 病院、介護施設の運営について相談したい。
- 介護事業の市場環境、法規制を知りたい。

他にも・・・

- 企業年金・退職金制度コンサルティング。
- 回収・為替リスク対策。
- 貿易相談・海外進出支援‥等。

さまざまなニーズにお応えいたします。

くわしくはお近くのみやぎん窓口までお問い合わせください

明日の夢 人から人へ
宮崎銀行

http://www.miyagin.co.jp/

平成25年9月1日